

【教育目標】 総合目標 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒



チャレンジ☆アイ

- ◎ 自主性、創造性のある生徒 (知育)
- ◎ 情操豊かな生徒 (徳育)
- ◎ 健康でたくましい生徒 (体育)

【1学年 職業人講話】～職業への関心を高め、生き方を見つめる！～

11月8日(火)の5・6校時に「職業についての理解を深め、将来の生き方について関心を高める」ことをねらいに1学年の職業人講話が開催されました。

当日は、様々な職業の9名の講師をお招きし、各学級で5校時に1名、6校時に1名の計2名の講師の話を聞くことが出来ました。生徒たちは、講師の話を聴きながらメモをとったり質問をしたりするなど、様々な職業の話を興味深そうに聞いていました。

講師の皆様には、平日の忙しい時間帯に本校生徒のために時間を作ってくださり感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

講師の皆さんの紹介(敬称略)

No.	講師名	事業所
①	仲村 悟	仲村自動車整備工場
②	安谷屋 要	巴総業
③	新田 宗市	メディアちゃんぶる沖縄
④	高良 政也	東洋ハウジング
⑤	上地 良明	居酒屋ねぎ左馬
⑥	知念 章太	広設備工業
⑦	仲村 勇人	仲村商店
⑧	金城 隆也	アキゾ産業
⑨	赤嶺 博也	豊島建産



【生徒の感想】～分かったこと・疑問に持ったこと・印象に残ったことなど～

- ◎ 建設業は、主に2つに分かれていて、建築と土木ということが分かりました。とても大変だと思った作業は、道路などを作るときにミリ単位で作っているということです。とても細かい作業で本当にすごいと思いました。安谷屋さんが一番苦労したところは、責任を持って作業をすることだそうで、とても大変そうで、一番苦労しているんだろうなと、とても心に残りました。(2組 運天寿々羽)
- ◎ 今日分かったことは、高良さんの仕事内容は、木造建築を担当し土地の売買も行っていることや、入居者との相談などを行っているということです。朝から掃除をしたり、声出しの練習、コロナ対策などを念入りに行い、地域貢献をされていてとても素晴らしいなと思いました。また、その職業に就くためには、宅地建物取引業者票を取得し、国家試験に合格しないといけないということが分かりました。お客さんからの問い合わせが1日約100件ほど起きていることに驚きました。(4組 赤嶺杏心)
- ◎ 上地良明さんの話を聞いて、仕事内容(買い出し・仕込み)が分かり、仕事をするに当たって「センスは関係ない」とおっしゃっていたのがとても印象に残りました。その他に、礼儀作法や心の底から感謝しお礼することの大切さを知りました。私も、将来センスに関係なく、自分に与えられた試練を乗り越えて頑張っていこうと思いました(5組 比嘉美結)

【島尻地区意見発表大会】～2年 大城茉里奈さん 最優秀賞の快挙！～

11月8日（火）に八重瀬町の南部総合福祉センターにおいて、地区PTA連合会主催の「島尻地区中学校意見発表大会」が開催されました。この大会は「意見発表を通して、社会の一員としてより良い社会作りのために、課題を発見し、論理の展開や構成を工夫して自己の考えをまとめ表現する力を向上させること」をねらいで開催されています。本校からは2年生の大城茉里奈さんが『『普通』と書いて『私』と読むから』と題して、性の多様性への理解や性的少数者への偏見の解消、制度面の改善などについて堂々と意見を述べました。そして、性的少数者も「普通の人」であり、性的指向は、好きな色、好きな動物、好きな教科などと同じように、その人の個性を構成する一つの要素でしかなく、性的少数者が決して「特殊な人」ではないことなどを訴えました。島尻地区で最優秀賞を獲得した大城さんは、1月に開催予定の県意見発表大会に出場します。県大会での素晴らしい発表に期待します。



【中堅教諭等資質向上研修】～国吉真輝教諭が道徳の研究授業～

11月10日（木）の3校時に2年9組で国吉真輝先生の道徳の研究授業が行われました。今回は、「さよなら、ホストファミリー」という教材を用いて「日本人としての誇り」について考えました。教材の概要は、「夏休みに海外派遣生としてニュージーランドを訪れた知子は英語が得意で、ホストファミリーのソニアと楽しいホームステイを過ごせると思った。しかし、ソニアの知りたい日本の文化や歴史について十分に説明することが出来ず、ソニアにそのことを痛烈に指摘されてしまう。そして、そのことを通して日本のことをきちんと知ることの大切さや外国人とのコミュニケーションの在り方などについて真剣に考えるようになる。」というものです。

生徒たちからは、「日本人としての誇りを持ち、日本についてたくさん知ることや伝統文化にたくさん触れることが大切」や「日本人の和の心を忘れずに自分が興味のある伝統や文化を学びその魅力を海外に伝えていく」などの意見がありました。

グローバル化や国際化が進む現在、日本や沖縄の歴史や文化をよく知ることが日本人やウチナーンチュとしての誇りにつながり、外国人とコミュニケーションを行う上でも大切だと感じました。



【一人一研究授業⑦】～山城梨紗教諭が1年2組で道徳の授業～

11月11日（金）の5校時に1年2組において山城梨紗先生の道徳の公開授業がありました。今回は、「公平とは何か？」ということについて、事例①「年齢によってお年玉の金額が違う」、事例②「コンサートなどで車イスの人は優先入場できる」、事例③「班活動のまとめを字が上手な人が一人でまとめる」の3つの事例を通して「公平と不公平」について考えました。

生徒たちは、個人の考えをもとにグループで話し合い、学級全体で様々な意見を共有しました。そして、公平と不公平を判断する時に大切にしなければならないことについて考えを深めていました。みんな活発に活動していました。

